



九条はらまち

福島県南相馬市「はらまち九条の会」No.197

2012(平成24)年 8月24日(金)発行



若い人に「私の戦争体験」を語り伝えていきましょう!

○今全国で「戦争体験を伝えていこう」という活動が展開されています。本会も発足以来6年間で<下表>のように、47名の「私の戦争体験」を収集掲載しました。ホームページ「はらまち九条の会」でもお読みいただけます。(敬称略)

No.	会報No.	発行月日	体験発表者	戦争体験のタイトル・その内容
1	1 2	2006.10.19	早坂 吉彦	国よ!身内の清算は・3歳、満州国で迷子に
2	1 5	12. 8	鈴木 丑太郎	物事を正しくとらえよう・過去に学ぼう
3	1 7	2007. 1.17	星 千枝	銃後でも・原町女学校教員として生徒と共に
4	2 1	4. 7	相良 利信	北朝鮮でソ連軍と戦い、シベリアに抑留
5	2 7	6. 6	佐々木 孝	私の八月十五日・満州国からの逃避行
6	3 0	7. 16	遠藤 昌弘	ヒロシマで被爆し「黒い雨」にうたれた
7	3 2	8. 6	佐藤 ヒロ子	戦時中の私・その走り書き
8	3 3	8. 15	松本 道子	六十二年目の終戦の日によせて
9	3 8	10. 4	菅野 清二	爆弾の破片を持ちながら
10	4 3	11. 12	中野 目利次	軍属として原町飛行場に勤めました
11	4 5	12. 18	荒 功雄	五歳の思い出、三ヶ月の疎開
12	5 0	2008. 1. 17	佐藤 邦雄	私は国民学校最後の卒業生
13	5 4	2. 16	金井 武	戦争のあった時代に生きて
14	5 7	3. 17	石塚 京子	戦時中の誇りに思う父のこと
15	5 8	3. 22	門馬 政彦	戦時下の中国・上海
16	6 0	4. 12	阿部 信子	動員中に郡山空襲に遭う
17	6 3	5. 5	鈴木 千代子	郡山の工場へ動員生徒を引率して
18	6 6	6. 15	塙 満	勤労働員の作業に明け暮れた
19	6 9	7. 14	西内 眞介	技術者めざして工業学校に入学するが
20	7 3	8. 15	但野 博貞	八月十五日・動員先の横浜で玉音放送を聴く
21	7 6	9. 2	山田 禎春	平和を祈念し7人の友人と全国を巡る
22	8 0	11. 19	八牧 美喜子	延齢草(えんれいそう)・特攻隊を見送ったあの頃
23	8 4	12. 17	大槻 明生	原町の戦跡の語り部として
24	8 8	2009. 1. 20	高橋 正彦	私も特攻要員の一人だった
25	9 1	2. 20	鈴木 増子	日赤の従軍看護婦として中国や南方の島へ
26	9 5	3. 10	大槻 千鶴子	焼け野原の上野周辺の記憶
27	9 7	4. 26	布川 雄幸	戦艦「長門」の整備要員に
28	1 0 1	6. 15	荒木 貞夫	戦争を知らない子供の戦争後体験
29	104106	7.16 / 8. 9	(匿名)	広島と長崎で二度の被爆を体験した
30	1 0 9	9. 8	(匿名)	どうせ被爆者だからと原発で働こうとしたが
31	1 1 2	10. 2	大原 尚子	苦く、哀しく、おいしかった思い出の味
32	1 1 5	11. 15	佐藤 喜代子	実むらさき・終戦の年、女学生でした
33	1 1 8	12. 15	朝倉 悠三	絵描きとして何か平和のための絵本を
34	1 2 3	2010. 1. 29	西牧 敬子	激動の青春時代・東京から石岡や鹿島に疎開
35	1 2 6	2. 25	山崎 ハル	妊婦で原町区石神の農家へ疎開
36	1 2 9	3. 18	羽根田 ヨシ	戦時中の思い出・津島生まれで小高農学校へ
37	1 3 1	4. 12	日高 美奈子	郡山空襲に遭った私を自転車で迎えに来た父の愛
38	134137	5. 8 / 6.18	志賀 五三三	終戦の頃の原町飛行場
39	1 4 0	7. 16	岡 実	十九歳、広島の軍隊で被爆「水をください」
40	141147	8. 9 / 9.15	八牧 将勝	十五歳で父の故郷の長崎で被爆した
41	1 4 2	8. 14	荒 重富茂	戦争は私の生活を大きく変えました
42	1 5 0	10. 1	青田 勝彦	台湾・引き揚げ 記憶のかげら
43	1 5 3	11. 15	菊地 ミチ子	戦争と家族の絆
44	1 5 6	12. 25	吉田 信雄	戦争は悪だ・東京から大熊町に疎開して
45	1 5 9	2011. 1. 15	山城 雅昭	私の戦争観・満州、広島、母の実家の原町へ
46	1 6 2	2. 18	青田 誠之	『漫画展』の絵と同じ体験をした
47	181185189	2012.1.22/3.23/5.22	木村 栄子	満州へ入植・地獄の逃避行と引き揚げ

会員の皆様からのご推薦です!

本・映画紹介・南相馬市を中心に



- 『南相馬 10日間の救命医療』太田圭祐・時事通信社 ¥1,700+税 南相馬市立総合病院に赴任していた若き太田医師の、医療現場での壮絶な奮闘の手記。
- 『内部被曝の真実』児玉龍彦・幻冬舎新書 ¥720+税 毎週南相馬市を訪れ、献身的に除染やその指導に尽力されている児玉東大教授の内部被曝の解説書。
- 『プロメテウスの罫』朝日新聞特別報道部・学研 ¥1,300 安全神話の片棒を担いできたメディアとしての贖罪なのか、昨年10月3日から朝日新聞に連載中。SPEEDIや汚染地図の発表もなく放置された浪江町や飯館村の様子、原発事故の真相や東電・官邸の裏面、避難民の実態などを告発する。
- 『福島は訴える』福島県九条の会・かもがわ出版 ¥1,600+税 □『福島から伝えたいこと』福島県立高等学校教職員組合女性部 ¥500 この2冊には、身近な方々の体験や怒りがたくさん寄稿されています。
- 『脱原発・自然エネルギー218人詩集』若松丈太郎編・コールサック社 ¥3,150 218人の詩作品にも(本会報№196で紹介)圧倒されますが、若松さんや鈴木比佐雄さんらの解説も大変に深い内容です。
- 『闘う市長』桜井勝延・開沼博・徳間書店 ¥1,300
- 『放射能を背負って』山岡淳一郎・朝日新聞出版 ¥1,700+税 この2冊には、震災後に桜井南相馬市長が直面した様々な苦悩が描かれています。
- 『原発と憲法9条』小出裕章・遊絲社 ¥1,400+税 「この国が原子力を進める意図は、要するに核兵器を持ちたい、ということなんだと私は思っています」とズバリ一貫して原子力に反対の小出氏。
- 『安斎育郎のやさしい放射能教室』安斎育郎・合同出版 ¥630 安斎先生は本もお話も分かり易い。
- 『3・11複合被災』外岡秀俊・岩波新書 ¥860+税 被災し苦悩しつつも懸命に生きる南相馬市民を取材。



□『脱原発論』小林よしのり・小学館 ¥1,785
ゴーマニズム宣言の作者には様々な批判はあっても、とにかくマンガの形で分かり易く、原発の危険性を訴え、原発推進論を論破、具体的な代替エネルギーを模索しています。たかがマンガとは侮れません。

■映画『シェーナウの想い』(2008年・ドイツ・60分) チェルノブイリ事故をきっかけに、ドイツの小さな村が、市民の力で脱原発の電力供給会社を誕生させたドキュメンタリー。今年1月から全国各地で草の根的に上映されています。DVDは貸出無料です。

■映画『内部被ばくを生き抜く』鎌仲ひとみ監督作品
原発事故後も二本松市に残って幼稚園を 経営する一家と園児の苦闘の生活を追うドキュメンタリー。児玉龍彦・鎌田實・肥田舜太郎ら専門家が警鐘を鳴らす。

＜「はらまち九条の会」事務局連絡先＞

○会長: 平田慶彦 TEL0244-24-1211 ○石田賢二 TEL0244-22-4037 ○早坂吉彦 TEL0244-22-0326
○会計: 井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL0244-22-7511・FAX26-0892
○事務局長: 山崎健一 TEL090-7527-5453 (避難先: 〒213-0033 神奈川県川崎市高津区下作延4-26-43 セトル 溝ノ口505 Eメール: yamazakiken1@gmail.com) ○HP担当: 大浦祥見・佐藤喜彦 ○香場恵子(市外に避難中)

うっすらと国会議事堂が...

八月十七日(金)の
首相官邸前の脱原
発デモ。規制が厳し
くなり、もう官邸前
までは行けません。



●毎週金曜日に全国で“脱原発”デモが行われていますが、1ヶ月ほど前から東京の首相官邸前には近づけず、国会議事堂周辺でのデモになりました。酷暑でも普通の市民や子ども連れ、お年寄り、全国各地からの参加も目立ち、お国訛りでわかります。(写真撮影・事務局トクハイン山崎)
●22日官邸で野田首相との面会は、再稼働後にただ会うだけの“ガス抜き”の30分でした。でも、国民の8割が“脱原発”で「原発0%」支持も最多です。国民はもう簡単にはだまされません。

＜事務局より＞

◆残暑お見舞い申し上げます。電力不足との警告は原発再稼働のための国家ぐるみの「脅し」だったのか。



◆9月2日(日)、福島市の福島大学で『福島県内九条の会交流会』が開催されます。「基調講演」は全国九条の会事務局長の小森陽一さんが行い、「交流会」では県内5つの会からの報告が行われます。本会は、全国でも事故を起こした原子力発電所に世界一近く、しかも活動可能な「九条の会」です。平田会長が震災以来の活動や南相馬市の状況を報告します。

◆＜ホームページ担当より、お知らせ＞

『はらまち九条の会』のブログ

が新装開店、どなたでもお気軽に投稿できるよう工夫しました。ご意見、感想、提案など初心者でも記入できます。「はらまち九条の会」検索でページが開けます。原発問題、被災地の現地よりの特集ページ増設しました。◆尖閣諸島や竹島問題の解決のために、いとも簡単に「自衛隊の出動も考えている」などと閣僚が言い始めています。紛争解決は「外交」で行うことが鉄則で、戦争悪からまるで何も学んでいません。オスプレイから目をそらすための世論操作なのか。それに、18歳以下福島県民の医療費無料化を、野田首相は簡単に却下。□ばかりで福島県民を見棄てています。私は次の金曜日も官邸前デモに行きます☆(山崎)

